

新型コロナウイルス感染症の影響

【主な質問・意見】
・コロナ禍の影響やアフターコロナという視点を踏まえた計画の策定が必要

【対応状況等】
・次期「岩手県教育振興計画（仮称）」の策定に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響とその対応についても、現計画の振り返りを行いながら検討していきます。

人口減少への対応

【主な質問・意見】
・学校統廃合が進む中、どのように子ども達を育ていけばよいか

【対応状況等】
・郷土への誇りと愛着を醸成するため、学校と地域が連携し、岩手の歴史や偉人、豊かな自然・文化等を探究する学習や、地域活動への積極的な参加を促し、地域産業を理解する取組や地域の課題解決を図る学習、伝統文化を継承する取組などにより、地域の担い手の育成をすることについて計画に盛り込んでいきます。

ICT教育の充実、ICT機器の活用等

【主な質問・意見】
・データ（デジタル）リテラシーの身に付けさせる、伸長する方向性は
・現状、ICT機器の活用環境が脆弱な学校もある

【対応状況等】
・GIGAスクール運営支援センターによる広域的な活用支援等、県と市町村が連携した取組の推進について、計画に盛り込んでいきます。
・県立学校のインターネット回線については、今年度中に増強を行う予定です。市町村立小中学校においては、回線の増強を行った事例もあって伺っています。

学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行

【主な質問・意見】
・部活動の地域移行について、指導者や保護者への情報提供等が必要

【対応状況等】
・市町村教育委員会等からの要請を受けて職員を派遣し、地域移行に係る説明会や、県民を対象とした「岩手県スポーツ・文化セミナー」を開催し、先進事例の紹介やスポーツ・文化、学校、保護者等関係者を招いたパネルディスカッションなどを実施したところです。

多様な教育ニーズへの対応

【主な質問・意見】

- ・不登校児童生徒への支援は
- ・通級指導の充実が必要

【対応状況等】

- ・不登校児童生徒の一人ひとりの状況に応じて、教育支援センター、フリースクール等民間団体等の様々な関係機関と連携し、ICTを活用した学習支援など、多様な教育機会を確保することや、不登校児童生徒の社会的自立への支援について計画に盛り込んでいきます。
- ・小・中学校等及び高等学校の通常の学級に在籍し、通級による指導の対象となる特別な支援を必要とする児童生徒を支援するための体制の整備や通級による指導を担当する教員の研修などの専門性の向上について計画に盛り込んでいきます。

教職員の働き方改革

【主な質問・意見】

- ・教職員のワークライフバランスの視点が必要

【対応状況等】

- ・県教育委員会では、「岩手県教職員働き方改革プラン」を策定し、教職員の長時間勤務を縮減し、多忙感を軽減することにより、教職員が、ワーク・ライフ・バランスを確保しながら、健康でいきいきとやりがいをもって子どもたち一人一人に向き合うことができる時間を少しでも多く確保できるように取り組んでいます。
- 引き続き、いただいたご意見を参考にしながら、令和6年度からを計画期間とする次期働き方改革プランの策定に取り組んでいきます。

学校と家庭・地域との協働

【主な質問・意見】

- ・これからは家庭や地域との協働が必要
- ・コミュニティ・スクールの理解促進等が必要

【対応状況等】

- ・各教育事務所毎に関係者を集めて開催する「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」及びコミュニティ・スクールの導入や関係者の資質向上のための「訪問支援」等を通じて地域住民や学校関係者に教育振興運動と学校運営協議会制度の内容及び違い等について周知を図り、学校・家庭・地域が連携・協働する仕組みづくりを推進することについて計画に盛り込んでいきます。